

贈呈時の「ゆめ」ちゃんの様子

- 「ゆめ」ちゃんは、アエロフロート機で27日正午過ぎ、成田空港を飛び立ちました。

当初は温度調整可能な貨物室で移送予定でしたが、アエロフロート航空は大統領への寄贈をよく知っており、「世界でいちばん有名な犬だから」と、「ゆめ」ちゃんのためにビジネスクラスを用意する粋な計らいを見せてくれました。

約10時間の長旅でしたが、「ゆめ」ちゃんはビジネスクラスに置かれた移送用ケージの中で、一度も吠えることなく、乗員や乗客からも大人気で愛想を振りまいていました。

- シェレメチェボ空港到着後、「ゆめ」ちゃんは本県同行者とともに、空港の貴賓室に通され、ロシア外務省高官などロシア側関係者の出迎えを受けました。

出迎えには、ロシア外務省のヤーセネフ・アジア大洋州局日本経済交流部長ら外務省2人、大統領府当局者1人、獣医師2人、「ゆめ」の飼育担当者2人、SP2人などロシア側から10人以上が出席。SPは警備のため派遣されたようで、VIPとして待遇されました。通訳は、在ロシア日本大使館の書記官が担当しました。

- ロシア側からは、秋田犬を飼うのにエサはどうするか、しつけはどうするか、どういう注意が必要かなど飼育方法について質問が出され、本県同行者から「子犬の時は低脂肪で非アレルギー性のエサが好ましい」などと、エサの種類や頻度を説明。接種したワクチンの種類やしつけの状況について説明しました。この間、「ゆめ」は部屋の中で一人で遊んでいました。

秋田犬保存会からプーチン大統領へのプレゼントとして、秋田犬の資料や写真、Tシャツ、帽子、携帯ストラップなど秋田犬グッズを多数詰めたバッグを渡しました。

- ロシア側は「子犬を寄贈していただき、大変光栄です。プーチン大統領も心待ちにしています」「ロシアでは『ゆめ』ちゃんはすっかり有名で、人気者になりました。間違いのないようにし、大事に育てます」と述べ、秋田県への感謝の言葉がありました。